

陸上自衛隊 ニュースリリース



JGSDF News Release

<https://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)

令和7年9月5日
陸上幕僚監部

令和7年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン25)の概要について
(実施場所及び訓練実施部隊の更新)

令和7年8月5日にお知らせのとおり、陸上自衛隊は、令和7年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン25)を実施することとしておりますが、調整の結果、実施場所(東京都※・沖縄県)及び訓練実施部隊(海上自衛隊・航空自衛隊)を更新することとしましたので、お知らせいたします。これにより、訓練の概要は以下のとおりです。

※ 東京都小笠原村硫黄島については、9月1日(月)19時14分頃に同島で発生した噴火に伴い、予定していた滑走路被害復旧等の訓練を中止

1 目 的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

2 期 間

令和7年9月11日(木)～同月25日(木)

3 場 所

(1) 北海道

陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、陸上自衛隊矢臼別演習場、
陸上自衛隊柏台演習場、陸上自衛隊丘珠駐屯地及び航空自衛隊計根別着陸場

(2) 山口県

米海兵隊岩国飛行場

(3) 大分県

陸上自衛隊日出生台演習場及び陸上自衛隊十文字原演習場

(4) 佐賀県

陸上自衛隊目達原駐屯地

(5) 長崎県

海上自衛隊佐世保基地

(6) 熊本県

陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地及び陸上自衛隊大矢野原演習場

(7) 鹿児島県

陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地及び徳之島

(8) 沖縄県

県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設等

4 訓練実施部隊等

(1) 陸上自衛隊等

ア 担任官

西部方面総監 陸将 ^{とり}鳥 ^{うみ}海 ^{せい}誠 ^じ司

イ 実施部隊

(ア) 陸上自衛隊

西部方面隊（総監部、第8師団、第15旅団等）、陸上総隊、北部方面隊、中部方面隊等

(イ) 海上自衛隊

自衛艦隊等

(ウ) 航空自衛隊

航空支援集団等

(2) 米海兵隊等

ア 担任官

第3海兵機動展開部隊司令官 中將 ロジャー・B・ターナー

イ 実施部隊

(ア) 米海兵隊

第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵遠征旅団、第3海兵師団（第12海兵沿岸連隊等）、第3海兵機動展開部隊情報群、第1海兵航空団、第3海兵兵站群、米海兵隊太平洋基地所属部隊等

(イ) 米陸軍

第3マルチドメイン・タスクフォース等

(ウ) 米海軍

第7艦隊等

(エ) 米空軍

第18航空団

令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25)について

令和7年9月
防衛省

令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25)について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、**日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。**

また、一部の訓練では、島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が5回目

【演習の実施場所及び期間】

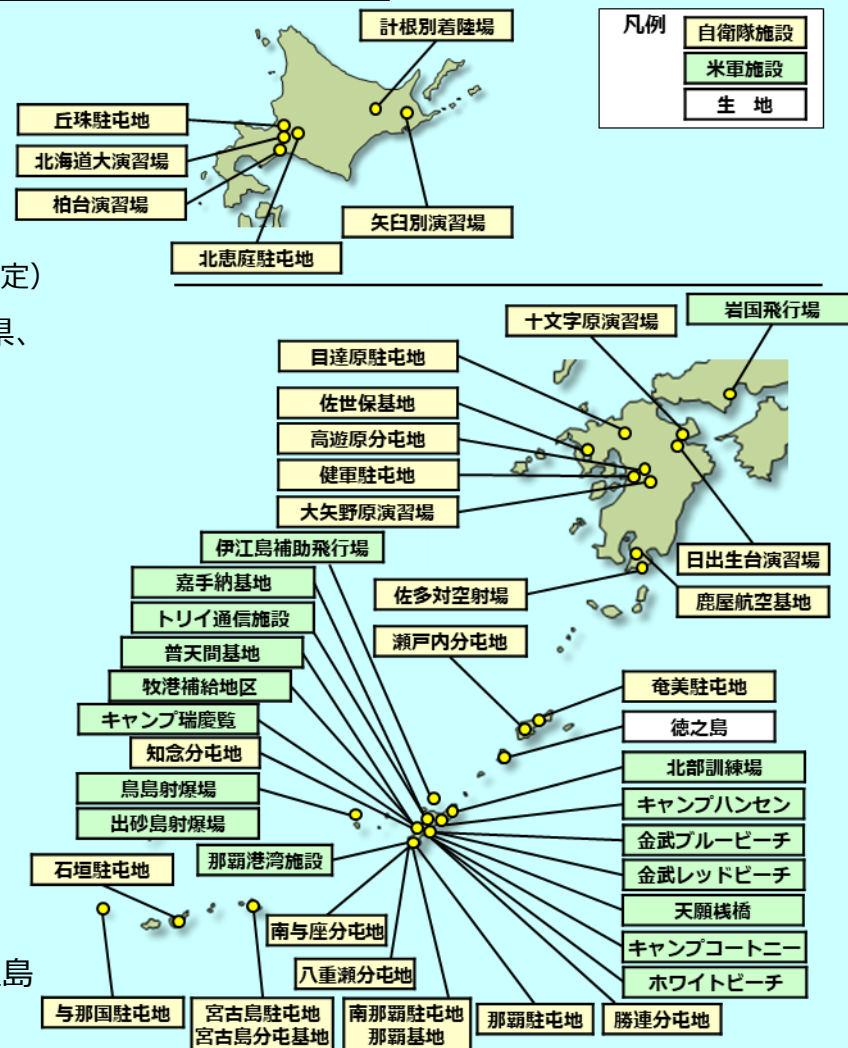
➤ **演習期間：令和7年9月11日（木）～25日（木）**

(本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定)

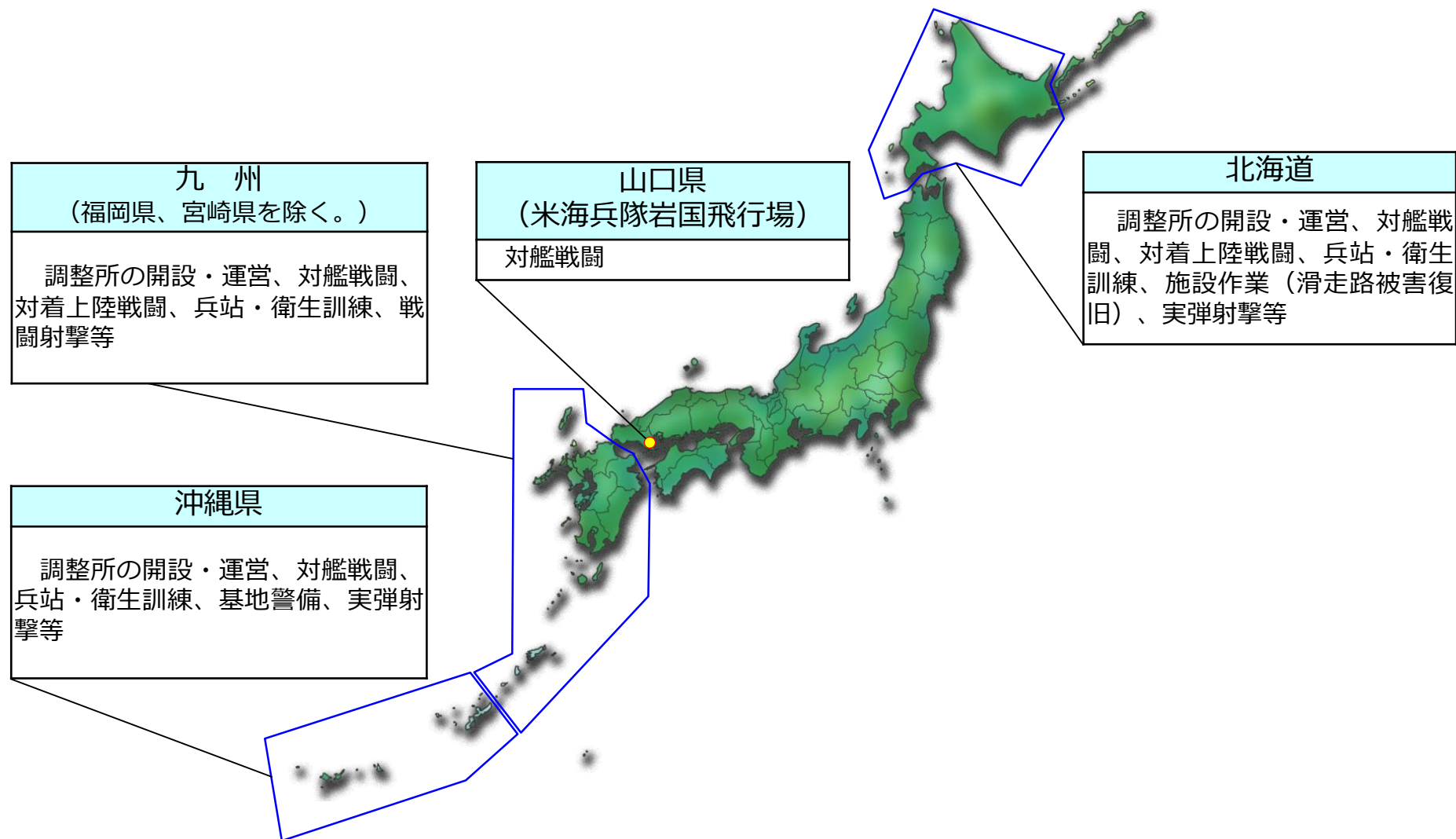
➤ **演習実施場所：**北海道、山口県、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、

鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

- ・ **北海道**：陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、
陸上自衛隊矢臼別演習場、陸上自衛隊柏台演習場、
陸上自衛隊丘珠駐屯地、 航空自衛隊計根別着陸場
- ・ **山口県**：米海兵隊岩国飛行場
- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場
- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **長崎県**：海上自衛隊佐世保基地
- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **鹿児島県**：陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、
陸上自衛隊奄美駐屯地、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、徳之島
- ・ **沖縄県**：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設等



レゾリュート・ドラゴン25における訓練内容等（基準）



海上自衛隊鹿屋航空基地の使用について

鹿児島県

海上自衛隊鹿屋航空基地においては、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約100名（陸上総隊（第1ヘリコプター団）、V-22×4機程度等）
米 軍：米海兵隊、米海軍 約150名（第1海兵航空団、海兵航空支援部隊、MV-22×7機程度、P-8（対潜哨戒機）×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

訓練イメージ



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備